

いじめ防止教室～良い人間関係のために～

生徒指導部主催の「いじめ防止教室」が学年毎に行われました。「聲の形」という映画を通して、いじめや今後のより良い人間関係について深く考える機会になったようでした。

<生徒の感想より> ※抜粋

障がいを持っている人に寄り添ってあげられる人になりたいと思った。しかし、それは簡単なことではない。自分を変えないとそうすることは出来ないと思う。正しい人間になりたい。良いことも悪いことも全て自分に返ってくる。正しいことを貫けるよう、自分を作り直していきたい。 (K. Y)

自分がだめなことをしたら、いずれ自分に返ってくる。いいことをすればいいことが返ってくる。だから人の嫌がることはしてはだめだと思った。そして障がいを持っている人にも普通に接し、バカにするようなことをしなければいじめにつながらないと思った。これから先、私もいろいろな人と出会う。どんな人にも普通に接し、いじめている人がいたら止めて、良い人間関係を作りたい。 (S・K)